

会 議 録

会議の名称	市民の皆様との意見交換会～今後のごみ焼却施設について～【第3回】
開催日時	平成30年10月28日（日）午前10時00分～午前11時50分
開催場所	東村山市 秋水園ふれあいセンター 大集会室
出席者 及び欠席者	●出席者： （東村山市） 大西資源循環部長、肥沼資源循環部次長、 武田施設課長、濱田施設課長補佐、井上施設課計画係長
参加者数	27名
意見交換記録	
<p>10時40分 意見交換開始</p> <p>質疑応答1</p> <p>○発言者（秋津町：住民1）</p> <p>コンサルはどこコンサルでしょうか。今回の整備計画において、どこまでが仕事の範囲ですか。</p> <p>○東村山市 コンサルは日建設計であり、基本方針の策定までとなっております。基本方針の次に行う計画策定に向けたコンサルの選定方法はプロポーザル等を予定しております。</p> <p>質疑応答2</p> <p>○発言者（秋津町：住民2）</p> <p>エコセメントは一般的にどのように利用されるのでしょうか。</p> <p>○東村山市 エコセメントは、再生セメントや、コンクリート二次製品として道路の縁石、L型側溝などに利用されております。</p> <p>質疑応答3</p> <p>○発言者（秋津町：住民3）</p> <p>今回の意見交換会は秋津町のみが対象ではなく全町で行うと聞いていたが、諏訪町や多摩湖町など抜けている地域がみられます。今回意見交換会を行わない地域には意見を聞かなくてよいということでしょうか。以前、意見交換会では、秋津町は住宅が密集して、そうした中に処</p>	

理施設がある現状をきちんと説明すると市の方に伺いました。

本日の説明では、用地は秋水園で決まり、規模については詳細については未定ということで、もしかしたら 100t の規模想定から、他市のごみも受け入れるなどすることで、想定以上の規模になるのではないかと心配です。

○東村山市 今回の意見交換会は全 10 回を予定していますが、年度内はご希望の団体等があった場合、出張説明会の実施を予定しています。また、秋津町以外の地域での意見交換会では、全 13 町の中で、秋津町のごみを受けていただいている地域であることは説明する予定です。

今後の検討で他市のごみを受け入れること等により、施設規模がさらに大きくならないかとの御指摘については、今後の人口減少等も鑑み、過大な施設をつくと費用もかかることから、日常排出されるごみと災害時のごみを単独の自区内処理を行える規模で今後検討していく予定でございます。

質疑応答 4

○発言者（諏訪町：住民 4）

結局秋水園で再建となることは読めていた。焼却炉を歓迎するような地域はありません。焼却炉を迎え入れる場合は、二度とここで施設を建てないといった覚書等を結ぶことがあります。立川や岩手県一関などが、そのような例に当たるが施設再建に失敗しています。そのようなことを背景に、東村山市では、1998 年に、市と市民で 3 年かけ 98 プランを検討し、ごみは燃やさない・埋め立てないという方針を策定しました。そして、秋津町の数百世帯で生ごみの資源化等の施策を行ってきました。その 98 プランはどこに行ったのですか。カナダ・オーストラリアで、同様の動きがあり、ごみを燃やさないことを実現しています。今から 10 年前にも焼却炉建替えの計画が出たが、そのときに、市民の反対があり、建替え計画が頓挫し、延命化計画を行った経緯があります。また、その 10 年後建替えということか。98 プランを反故にしているのではないのでしょうか。なぜ今回の説明に、98 プランなどの過去の経緯が入っていないのですか。

○東村山市 本日は、今後の基本方針を定めるための意見交換の場であるので、いただいた 98 プランのお話も御意見として承ります。また、98 プラン以降、これまでの市の施策として、リサイクルセンターを整備してリサイクル率を上げることや粗大ごみから資源ごみの分別により焼却物を減らすこと等を実施しており、10 万人以上 50 万人未満の市町村の中で、一人当たり

のごみ排出量及びリサイクル率が 10 位以内という結果が出ています。ごみに関する意識が高い自治体として継続できるよう今後の計画も検討していきたいと考えています。そういったこれまでの蓄積や理念を継続する意味においても、単独処理を検討させていただきたいと考えております。

質疑応答 5

発言者（恩多町：住民 5）

広域処理について、柳泉園以外に検討したのでしょうか。

施設整備用地として、建物が立地していないのが条件であるが、秋水園は現状建物が立地しているが、建替えの際はどのように計画するのでしょうか。

燃やせるごみの 32 年度推計値はどのように算出したのですか。

○東村山市 広域処理については、市内で収集したごみが一日で運搬可能なことを想定して、柳泉園の他に、小平・村山・大和衛生組合についても検討を行いました。そちらも既に次の施設の計画があり、広域処理の検討が困難であると考えております。

秋水園については、確かに建物が立地しているが、既に立地している建物の代替用地が必要とならない用地として、秋水園は 22,000 m²あり、10,000 m²以上という条件を満たすため、候補用地に挙げております。

平成 32 年度の燃やせるごみ量の推計値は、現行の一般廃棄物処理基本計画の最終年度の推計値として挙げています。今後の計画で、最新数値を検討させていただきたいと考えております。

質疑応答 6

○発言者（秋津町：住民 6）

秋水園に施設ができて 37 年経つが、その間いろいろな推移があり、病気になった人がいることや小学生の喘息罹患率が高いなどいろいろなことを考えて、もういいのではないかと地元の人には思っています。

意見交換の開催については、現実には開催を知らない人が多いです。市の広報・回覧板を見に行く人は皆無です。地元の意見を本当に伺おうという姿勢を市には見せていただきたいです。チラシの書き方ももっと工夫をした方がよいと思います。

地価の問題について話し合いがあった際、秋津はほかの地域より地価が低いことについて、ほかの地域の人からは秋津にごみ処理施設があるからだといわれたことがあります。それを言った人は、ごみを出している人です。本気で地元のことをアピールする場を作ってほしいです。

周辺地域には年間 5,400 台のトラックが通行することになる。大気汚染についても、きれいだというなら、ほかの場所に建ててもいいのではないのでしょうか。

○東村山市 市報、ごみ見聞録、ポスター掲示、HP、ごみ分別アプリ、スーパーの買い物客チラシを配布などで、意見交換会の周知を行っています。御指摘の部分・分かりにくい箇所があるかもしれないが、今後も周知に努めてまいります。そのほか、周知の方法等について御意見があれば、参考にさせていただきたいと考えております。

地価については、こちらでも調査させていただいたが、秋津町が他町に比べて、著しく低いということはないと考えております。

用地については、前回前々回においても久米川第 13 住宅跡地に建設してはどうかという御意見を頂いておりますので、今後の検討の参考にさせていただきたいと考えております。また、収集車の通行台数については、容器包装プラスチック・ペットボトル・古紙については民間委託化を進め、施設の分散化を図る中で秋水園への搬入車両の量も減らすよう努力しているところでございます。

質疑応答 7

○発言者（諏訪町：住民 4）

98 プランを反故にしていないとのことだが、98 プランは世界で初めてごみは燃やさない、埋め立てないということを市民と共同で宣言しているものなので、ごみ問題を考える上で 98 プランに対して、どのように考えているか示すべきではないでしょうか。

ハザードマップでこの地域は 5m 以上の浸水地域となっているが、焼却施設を新たに造る際にハザードマップの状況はどのような扱い、検討をするのか伺いたいです。

環境影響についてですが、秋津町は子供喘息罹患率 1,2 位を占めています。なぜ、秋津町は喘息が多いのか、分析を行ったことはあるのでしょうか。

ごみの減量化においては、剪定ごみは燃やせるごみの 10～15% を占めているが、これを減らすことができれば、私の試算では 1 炉で済むのではないかと思います。剪定ごみは現状でも燃

やしているか伺います。

○東村山市 ハザードマップの状況は認識しています。法令上は浸水域への施設の新設を禁止しておりません。また、現時点において、これまでこの地域は浸水しておらず、浸水して施設が利用できなくなったということもございません。もし、秋津町で進める場合は、浸水して施設が利用できなくなるようなことはあってはならないので、そのような状況を加味して施設の計画を検討してまいりたいと考えております。

喘息の罹患率については、秋津町の小学校が高い年もあれば、影響があると考えられないほかの地域の小学校が高い年もあります。秋津町にある小学校のみが常に罹患率が毎年高いという状況ではないので、市としては、関連性は特定できていないところでございます。

剪定枝につきましては、燃やせるごみの内15%程度です。今後、基本方針が定まった後、基本計画で対象ごみの検討をしていく予定でございます。焼却炉の数についても今後、基本計画の段階で検討させていただきたいと考えております。

質疑応答 8

○発言者（秋津町：住民7）

地元のことに対して、これまでも活動や発言等をしてきました。秋津町は道路が狭く、苦痛に感じている住民がいることを、市の担当者は知っているのでしょうか。東村山の道路計画に不信感を持っています。まずは道路整備がきちんとされてあってしかるべきであり、20年間狭い道路で行うから苦痛が続いています。また、畑と公園の間の水路についても、状況は知っているのでしょうか。放置され、木が巨大化しています。秋水園・道路課・公園課に対策をお願いしたが、対応してくれません。感情論というものも変ですが、やると決めたら、やれる。やろうと思う心が中途半端だからうまくいかないのであると思います。

○東村山市 周辺の道路については課題であると認識しております。志木街道のバーミヤンから続く通りや中通りなど長年の課題となっております。都市計画道路の計画については、地権者の問題、全体の協力が必要なことから、非常に難しい課題です。市長ともどもこれらについて、課題であると認識しているところでございます。

また、水路が土で埋まり、樹木が大きくなっている件については、まちづくり部と現地調査を行い、確認しており、今後、進捗を報告させていただきます。

いずれにしても、今後、秋津町で進める際は、周辺の環境や道路事業は大切なことであり、

どのような形で進めるのか、どこが課題なのかということも、現時点での御議論を踏まえながら、基本計画の検討を進めていきたと考えているところでございます。

質疑応答 9

○発言者（秋津町：住民8）

色々と検討してきたが、一度0にして、新しい組織をつくりなおし、勉強会などをした方がよいと思います。秋津町の方だけではなく、若い方の意見も必要です。意見交換会の参加人数が少なく、市民の関心の少なさが気になります。市ももう少し広告した方がよいのではないのでしょうか。市民に興味を持ってもらうことが大事。私もできることがあれば協力します。

○東村山市 あり方検討会の委員については市全域で公募にかけて募集した経緯もあります。より興味をもっていただくために、今後も皆さんに御協力いただきながら、検討していきたいと考えております。

質疑応答 10

○発言者（秋津：住民9）

広報紙で告知しただけでは、人は集まらないと思います。

また、秋津周辺の道路状況はひどいと思います。細い道が多く、歩道の状況もひどいです。私は車いすを利用しており、通行しづらい場所が多いです。以前、アパートのスロープ前にゴミ袋があり、スロープを登れず、通行人にごみを移動していただいたことがあります。このようなことがあるので、朝だけではなく、昼も回収するなど回収の頻度について検討していただきたいです。

○東村山市 広報の仕方については、今後に向けて研究してまいりたいと思います。

道路事業については、先にお答えした通り、今後の計画の中で検討させていただきたいと考えております。スロープの件は大変申し訳なく、市の方にご一報いただければ、ごみの出し方の悪い所に指導を行うといった対策をとれるので、なにか不具合があった場合は市の方に連絡をいただきたいと思います。

質疑応答 1 1

○発言者（青葉町：住民10）

秋津町の方々の意見を初めて聞いて、切実な思いで暮らしている方がいることを知りました。ほかの方にもこのことを伝えていきたいと思います。

リサイクル率の件、市長はさらに上位に入りたいとおっしゃっているようだが、本当に上位に入りたいのであればもっと考えた方がよいと思います。段ボールや資源物等を民間スーパーで回収しているといった事例もあります。燃やせるごみを減らせば、パッカー車の台数も減り、新しい施設の必要な用地面積が少なくなり、施設自体もコンパクトになるのではないのでしょうか。そのためには、市民の協力が必要であり、こうしたことに向き合わなければ秋津町の方々の思いは伝わらないのではないかと思います。ですから、ごみを回収することが親切ということではなく、回収量を抑制することで、将来的に住みやすい東村山になるのではないのでしょうか。市民と向き合えるような行政の在り方も考えていただきたいと思います。

○東村山市 他の地域の方にみなさまの御意見を伝えていただけるということ、また当市のごみの取り組みに御協力いただければと思います。ありがとうございます。

質疑応答 1 2

○発言者（諏訪町：住民4）

98 プランでは、生ごみを問題としていました。今回の方向では、生ごみのことに触れられていないです。豊橋市で、生ごみを下水汚泥や浄化槽汚泥と一緒にメタン発酵する取り組みが、昨年10月より開始されています。現地視察したが、メタン発酵自体は簡単にできます。つまり下水処理場が、生ごみを処理する施設になっており、従来と考え方が全く異なっています。これは、国交省の補助金が出ている先進事例となっています。この事例をご存知か伺いたい。また、生ごみをディスポーザーで処理して、直接下水処理場へ流すといった事例もあります。こういうことをやり生ごみが無くなれば、収集回数も減り、収集車の台数も減るのではないかと。

今後、このような先進事例も資料とし、検討に加えてほしいと思います。

○東村山市

処理方式については、メタン発酵施設の検討も行ったが、その後発生する残さや回収物の処理という点で整理した結果、現時点で採用しない方がよいのではないかと考えております。当市は、下水処理施設を単独で所有しておらず、下水処理場に生ごみ処理施設を設置す

ること自体ハードルが高いと考えており、御意見として承ります。

配布した資料については、できるだけ分かりやすくコンパクトにし、今後さらに研究を重ねたいと考えております。

質疑応答 13

○発言者（住所不明：住民 11）

施設を検討の際、市役所は候補に挙がらなかったのでしょうか。久米川の都営住宅の跡に市役所を建てかえ、市役所があるところに、武蔵野市の様に本当に美しい立派なクリーンセンターを建てることも考えられないかと思えます。

○東村山市 市役所については、本庁舎の建替えもしくは耐震化について、費用等も含め、様々な観点から議論・検討を行った結果、市庁舎の耐震化、継続利用を採用するに至っております。

11 時 48 分 意見交換会終了